

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	平成30年度～平成34年度														
事業実施地区名 (都道府県名)	くまがわ 球磨川森林計画区 (熊本県)	事業実施主体	九州森林管理局 熊本南部森林管理署														
事業の概要・目的	<p>本事業は、熊本県の南部に位置する八代市を含む3市7町5村に所在する37千haの国有林野を対象としている。</p> <p>森林の現況は人工林は22千ha（人工林率61%）となっており、主な樹種は針葉樹ではスギ・ヒノキ、広葉樹ではシイ類・カシ類となっている。</p> <p>人工林面積の約8割にあたる19千haが間伐の対象となる林分になっている。更に今後は、主伐の対象になる林分も増え、併せて更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>本計画区は、国見岳及び市房山等の形成する九州中央山地西側の球磨川源流部から河口部に位置しており、水源かん養保安林が全体の89%に達し、下流域の水瓶として重要な役割を担っているほか、溪流豊かな森林景観、照葉樹の森など豊富な観光資源にも恵まれている。</p> <p>本計画区の森林は、熊本県とともに平成19年3月に「緑の循環」認証会議（SGEC）により認証森林として認証されているなど、従来よりスギ・ヒノキの人工造林が盛んで、豊かな森林資源を利用した木材加工業が高度に発達し、地域の重要な産業となっている。</p> <p>このため、森林の公益的機能が高度に発揮されるよう国土の保全、自然環境の保全、生物多様性の保全等にも十分配慮しつつ、森林吸収源対策として間伐に積極的かつ着実に取り組むとともに、林産物の継続的かつ計画的な供給により地域振興に寄与するため、資源の循環利用を行いながら多様で健全な森林の整備・保全を推進することが必要である。</p> <p>本事業では、伐採事業との一体的な実施や新たな林業技術の導入等による造林事業の低コスト化に取り組みつつ、間伐、更新等の森林整備及びその効率的な実施に必要な路網整備を実施する。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>602 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>8,859 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>36.5 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>25.1 km</td> </tr> </table> <p>・総事業費</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>7,188,293 (千円)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	602 ha		保育面積	8,859 ha	路網整備	開設延長	36.5 km		改良延長	25.1 km		7,188,293 (千円)
森林整備	更新面積	602 ha															
	保育面積	8,859 ha															
路網整備	開設延長	36.5 km															
	改良延長	25.1 km															
	7,188,293 (千円)																
費用便益分析	総便益 (B)	32,111,080 (千円)															
	総費用 (C)	8,850,330 (千円)															
	分析結果 (B/C)	3.63															
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	費用便益分析結果、森林・林業情勢等、事業の公益性を総合的に検討した結果、事業の実施が妥当である。																
評価結果	<p>・必要性： 水源の<sup>かん</sup>涵養、国土の保全及び地球温暖化防止対策などの公益的機能の維持増進並びに木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、事業の必要性が認められる。</p> <p>・効率性： 費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる</p> <p>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																

## 別紙様式 7

## 便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

事業実施地区名：球磨川森林計画区

都道府県：熊本

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	8,317,311	
	流域貯水便益	2,450,730	
	水質浄化便益	5,122,241	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,703,700	
環境保全便益	炭素固定便益	3,443,881	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	281,397	
	木材利用増進便益	34,662	
	木材生産確保・増進便益	2,840,541	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	1,916,617	
総便益 (B)		32,111,080	
総費用 (C)		8,850,330	
費用便益比 (B/C)	$B \div C = \frac{32,111,080}{8,850,330} = 3.63$		

